

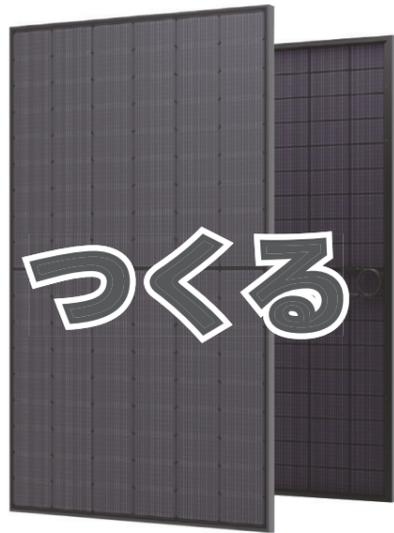
# 太陽光発電 × 家庭用蓄電池

新築住宅へ  
太陽光と蓄電池を  
導入した場合  
どんな生活になるか  
ご存じですか  
令和の新常識を  
お伝えします



# ▶▶▶ > 太陽光発電と蓄電池の役割を分解！

## 太陽光発電



停電しても  
日中の非常用電源  
として活用

太陽光発電による  
**1 防災**

自家発電なので  
日中は高い電気を  
買わなくなる

太陽光発電による  
**2 節約**

余った電気は  
売ることが出来て  
無駄がない！

太陽光発電による  
**3 収益**

## 家庭用蓄電池



災害時に空調や  
照明や調理に  
電力を供給して  
命をつなぐ

家庭用蓄電池による  
**4 防災**

日中貯めた  
太陽光の電力を  
夜間に使用し  
光熱費を大幅節約

家庭用蓄電池による  
**5 節約**

# 太陽光発電

## 1 防災

停電時に  
非常用電源として  
活用できる

災害は毎年やってくる!?  
万が一の備えが必要



2018年 台風21号  
240万世帯停電

2018年 台風24号  
180万世帯停電

2019年 台風15号  
93万世帯停電



甚大化 長期化の  
災害に対する備え

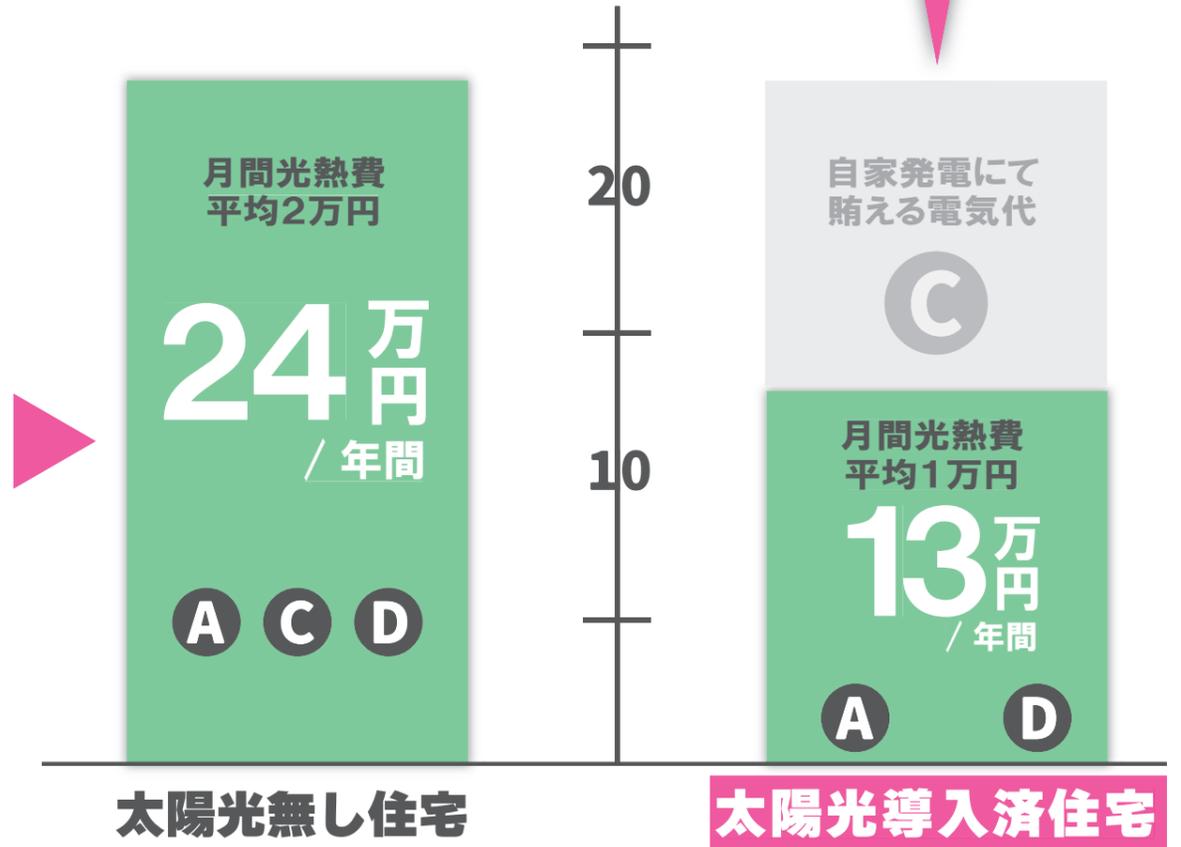
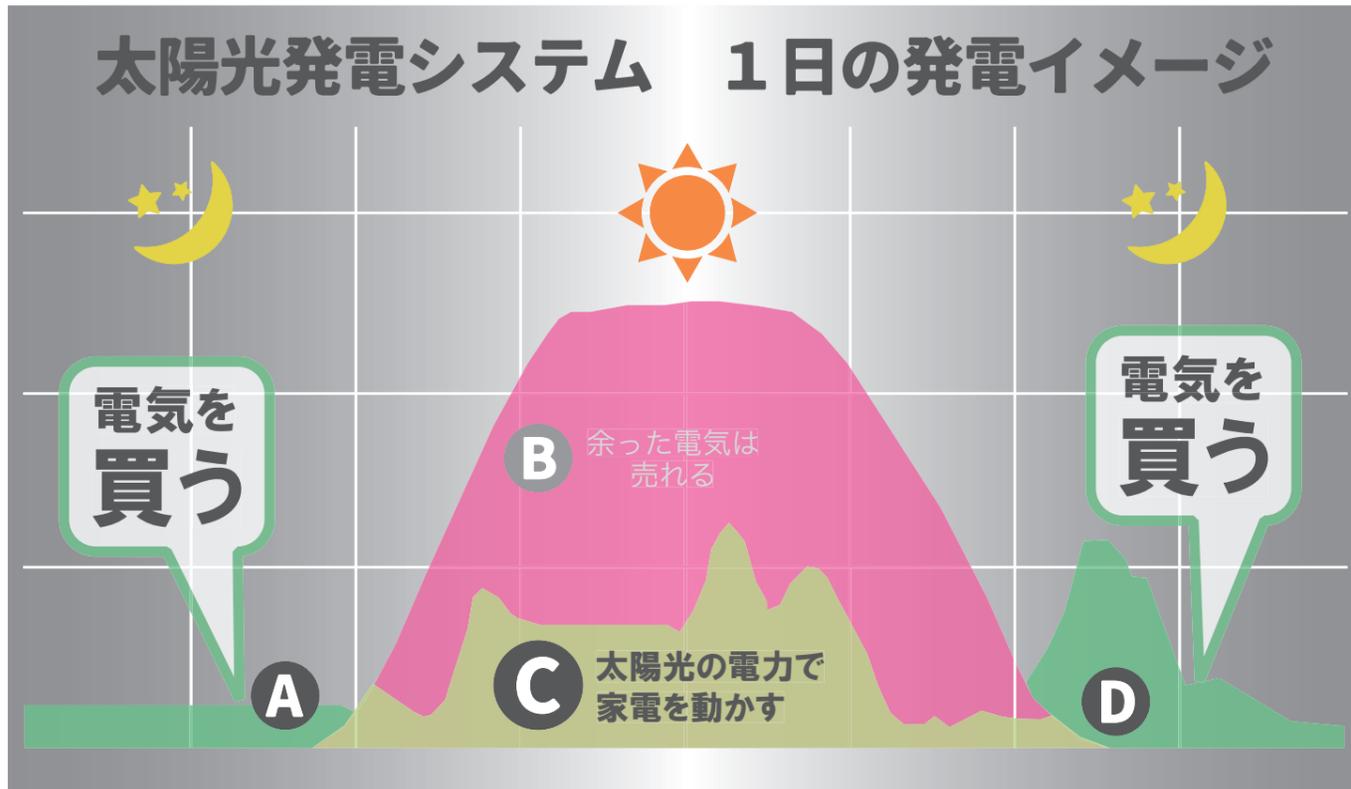
# 太陽光発電



**2 節約**  
自宅で発電するので  
日中の高い電気を  
買わなくなる

# 賢く使って 光熱費削減

約**46%**削減



# 太陽光発電



## 3 収益

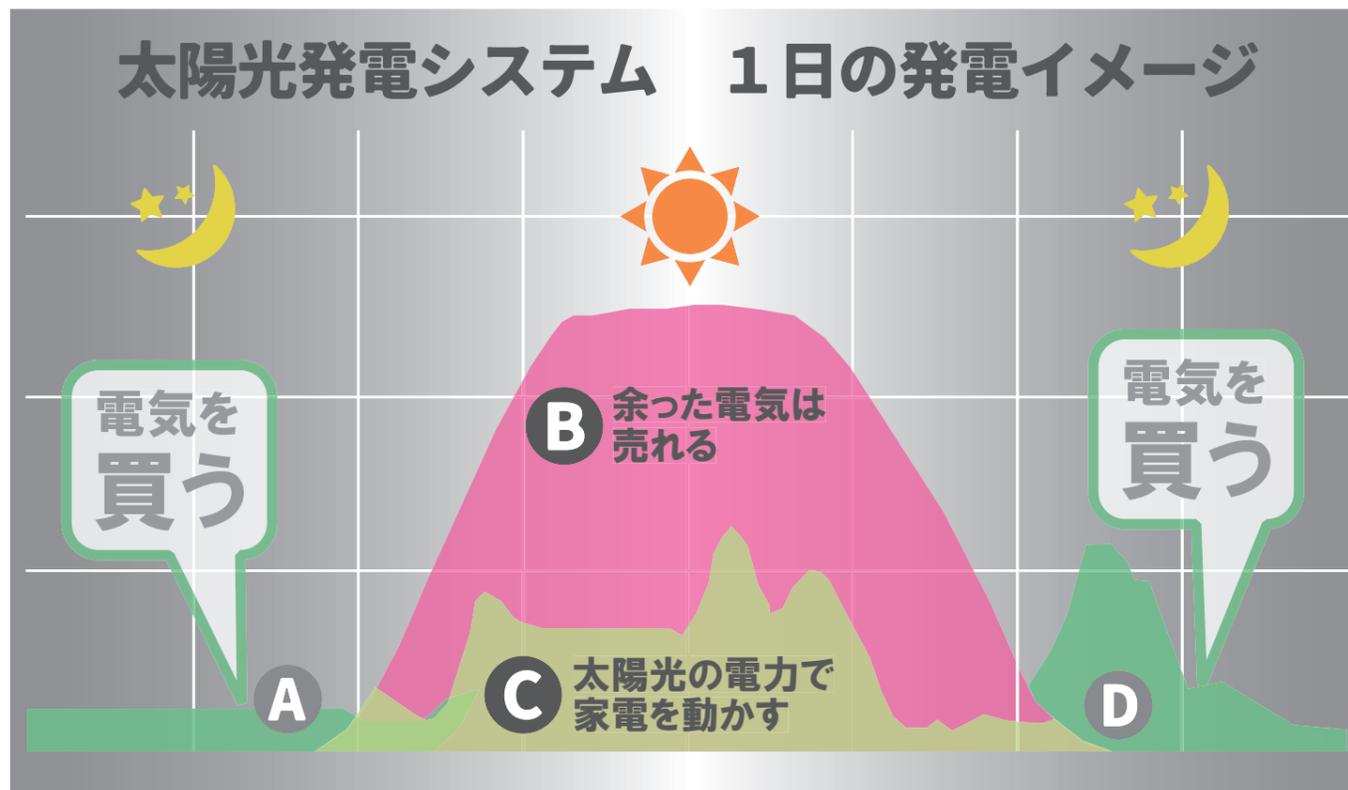
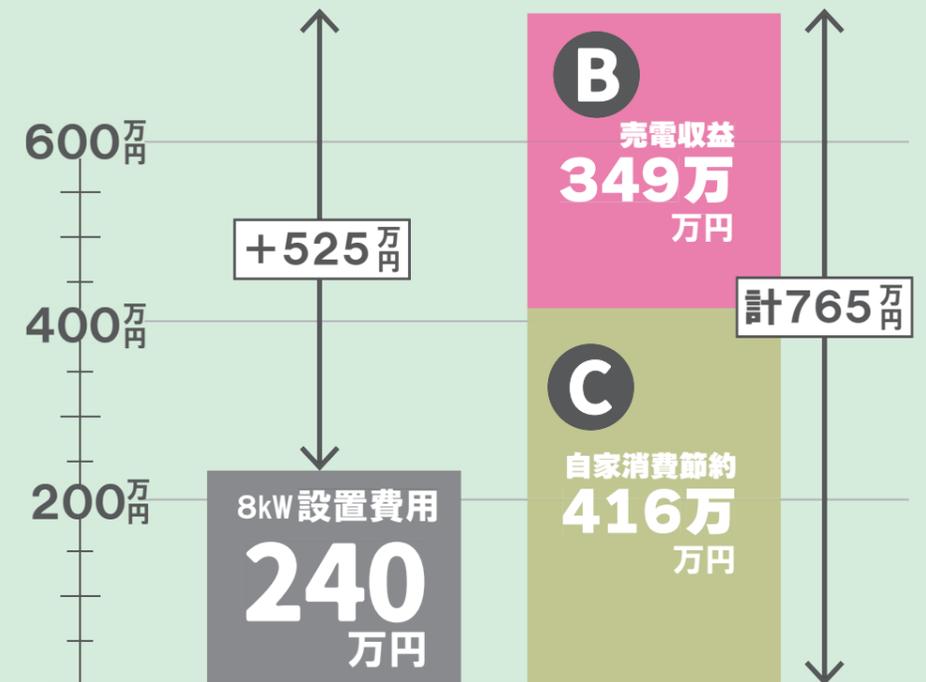
余った電気は  
売ることが出来て  
無駄がない！

# 設置費用を加味しても 高い収益性があります

### 例 太陽光発電 40年収支イメージ



建坪30  
400W20枚  
8kW 設置



# 家庭用蓄電池

## 4 防災

災害時に空調や照明や調理に電力を供給し命をつなぐ



### テスラ Powerwall の大きな特徴 停電時の特定負荷型と全負荷型のちがい



電池の容量もほぼ1日分。  
IHヒーターやエアコンもつながる！

**災害が起きても  
普段通りの生活♪**

### でも…なぜ 太陽光+蓄電池の組み合わせが必要なのか

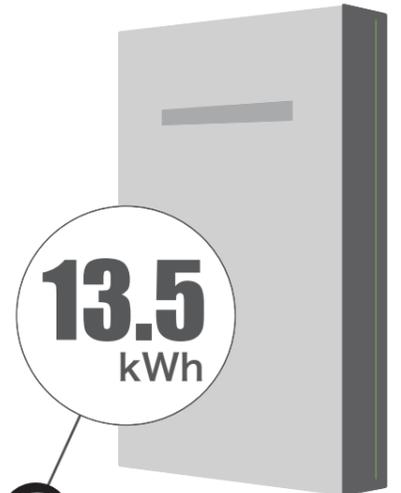
近年、下のグラフのように停電が長期化するケースが増えています。1日使える大容量蓄電池と、次の日に充電が出来る太陽光発電。この2つは、長期化する災害に対応する住宅の必須アイテムです。



## 太陽光発電 + テスラ Powerwall

**この組み合わせなら、停電が続いても  
次の日も電気が使える！**

# 家庭用蓄電池



? 一般家庭の年間電気使用量一日分弱の容量

## 5 節約

日中貯めた  
太陽光の電力を  
夜間に使用し  
光熱費を大幅節約

? ところで蓄電池には、どれくらいの電力を貯めたら安心出来るのかな？

4人家族世帯の場合の  
年間電力消費量  
約 6,000kWh

- ▶ 月平均 500kWh
- ▶ 日平均 16.4kWh

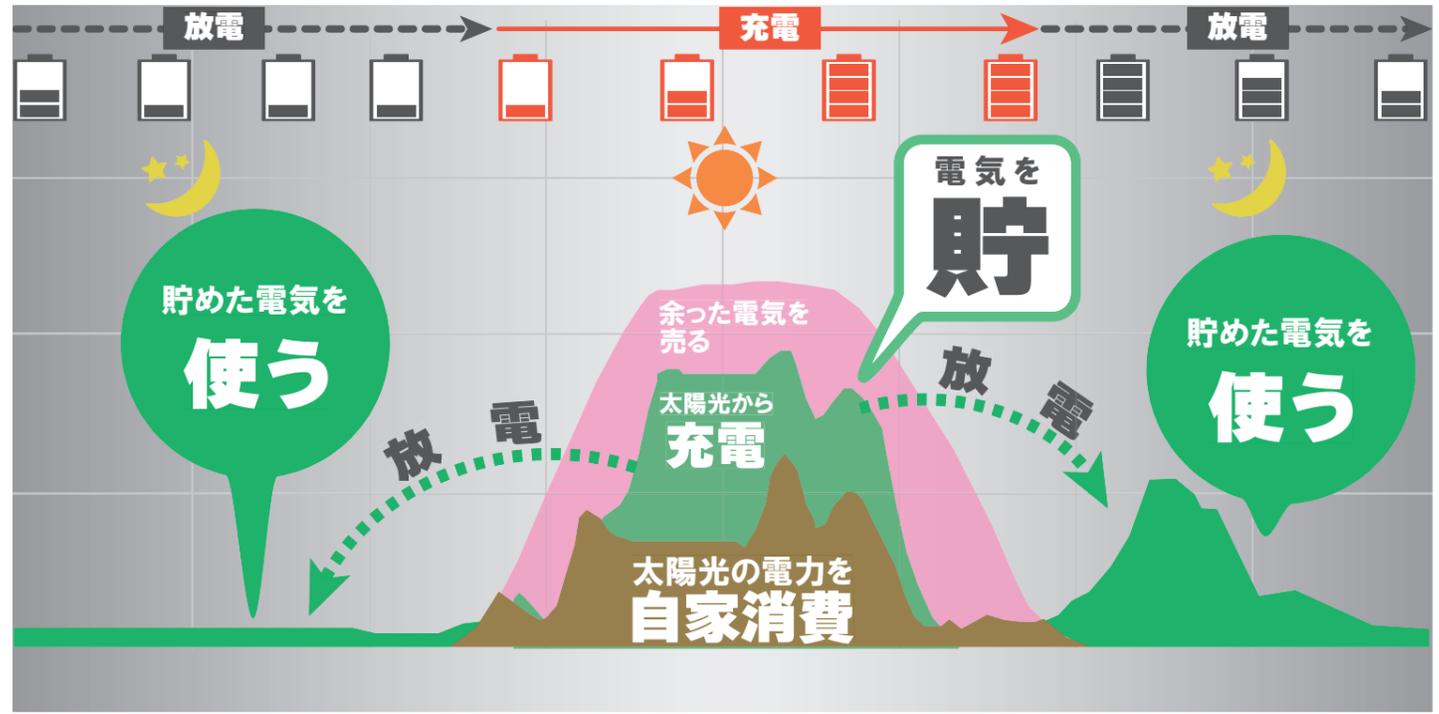
答 Powerwallなら1日分の容量に近いから安心だね！

4kWhや9kWhの蓄電池では足りない

## 毎日の生活にも蓄電池は役に立つ♪

発電コストの安い太陽光発電を蓄電して、日中の高い電気を買わない暮らし

太陽光と蓄電池を導入した場合の1日のイメージ



5～8kWほどの太陽光発電であれば、1日分の電力を賄える計算となり、電力会社から電気を買わない暮らしが目指せます





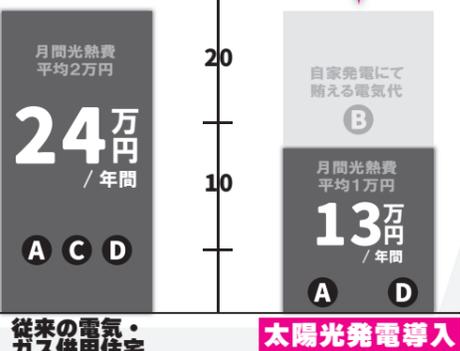
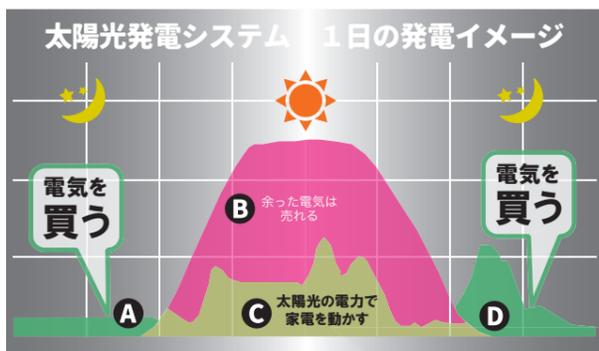
## 太陽光発電



### 2 節約

自宅で発電するので  
日中の高い電気を  
買わなくなる

## 賢く使って 光熱費削減



■電気代は、月平均 20,000 円として試算。太陽光発電導入で、家電使用電力量の 30%とエコキュートの太陽光利用により 16%が発電からの自家消費になる試算。これにより合計 46%削減となる。電気料金引用元：総務省 家計調査 (2022)

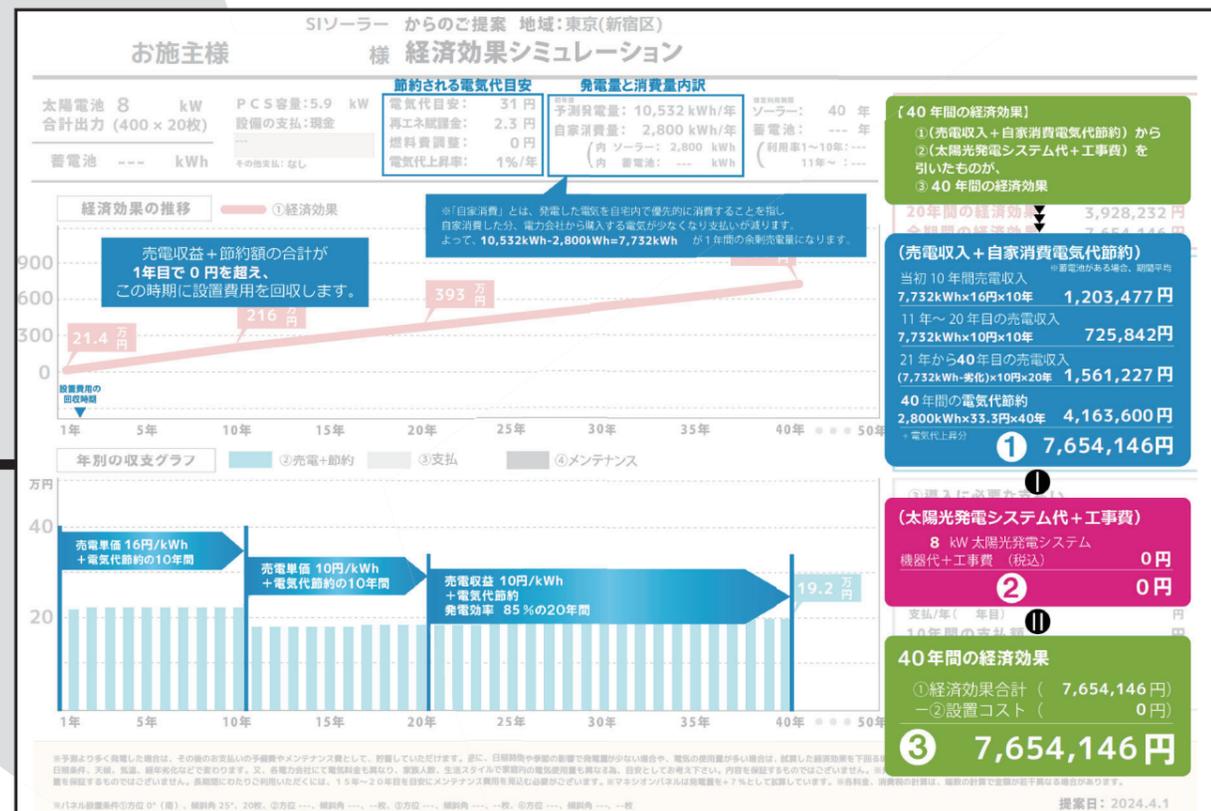
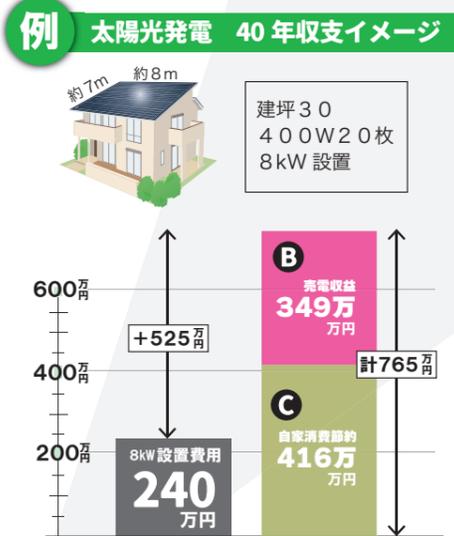
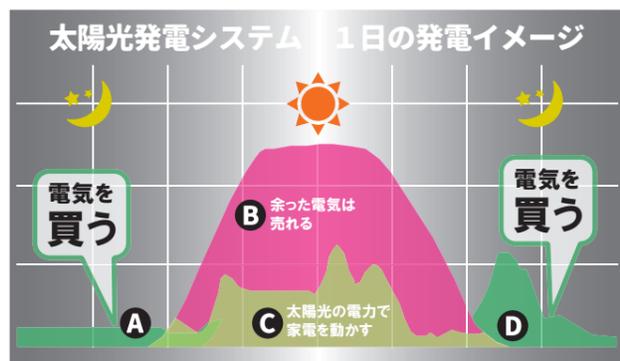
## 太陽光発電



### 3 収益

余った電気が  
売ることが出来て  
無駄がない！

## 設置費用を加味しても 高い収益性があります



- ▶ FIT 期間は 10 年は 16 円 /kWh にて売電
- ▶ FIT 期間終了後は 10 円 /kWh にて売電
- ▶ 太陽光発電システムの設置コスト 30 万円 /kW の想定
- ▶ 自家消費量は年間 2,800kWh に設定
- ▶ 自家消費節約の計算は電気代 31 円 /kWh (全国家庭電気製品公正取引協議会より)
- ▶ 節約分電気代に再エネ賦課金 2013 年～2024 年の平均値 2.3 円 /kWh を加味